

平成 23 年 5 月 25 日
メディアスエフエム番組審議会事務局

メディアスエフエム第 23 回番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成 23 年 5 月 25 日（水）16 時 00 分から 17 時 00 分

2. 開催場所

知多メディアスネットワーク(株)3 階すいせん西会議室

3. 出席者 ※敬称略

委員) 紀藤 輝明、加藤 龍子、小島 幹子、寺島 賀子、林 繁八、早川 鉄三
以上 6 名

※近藤委員は欠席

事務局) 河井 貞一（代表取締役常務）、山本 隆明（コンテンツ部副部長）、
松山 崇臣（コンテンツ部編成企画G）

4. 議事内容

(1) 報告事項・・・事務局

① 4 月、5 月の活動報告

② 今後の予定

(2) 活動報告、番組について審議・・・委員

5. 審議内容

○各番組についてのご意見

林委員／メディアススタジオに出演するゲストの話し方が堅い気がする。小学校の交通安全宣言ジングル、市民のメッセージを発信するハートメッセージの取り組みは良いと思う。自分が出演していれば、関係者も含めラジオを聴いていただける。

事務局／メディアススタジオに出演していただく方々には、これまで以上に自然な雰囲気でお話しいただける準備をしていきたい。

加藤委員／ゲストの方に出演していただく方法として、現場でインタビューを行う方法と、スタジオにお招きしてインタビューを行う 2 つのパターンがあると

思う。スタジオより現場でインタビューを行った方が、先方も日常の延長で話しをすることができるので気軽にお答えいただけるのではないか。スタジオでの録音インタビューだと、テンポが遅く本題に入るまでの前段が長く感じる。生放送で臨場感があつた方が楽しく聴くことができると思う。

○防災情報についてのご意見

加藤委員／防災ラジオとしてメディアスエフエムを周囲に紹介しているが、市民の情報源としての必要度が上がってきていると感じる。避難所などの防災情報を繰り返し流す必要があるのではないか。

寺島委員／個人的に津波避難の対策を心配している、メディアスエフエムで津波の対策情報が聴けると良い。また、生放送での地震情報はどのように放送しているのか。

紀藤委員／避難場所は確かに分かりにくい。

事務局／地震情報の発信はルールに基づき適時行っている。また、大雨などの情報発信にも対応している。しかし、津波時のシミュレーションは分かっているないので今後把握していきたい。

加藤委員／災害に関する放送は、事前の心構えと、災害発生後のフォローをラジオから得るのが大切だと考える。

事務局／今後、防災放送と災害放送に関するルールを見直していきながら、引き続き対応をしていきたい。

次回開催は平成 23 年 7 月 27 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 松山 崇臣